

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3階302号
Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番

例会日 毎週金曜日 午後0時30分
例会場 南海グリル 天兆閣別館 4階「ローズ」 Tel: (072) 222-0131 番 (代表)

URL : <http://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

ガバナー(第2640地区) : 辻 秀和

ガバナー事務所 URL : <http://www.rid2640g.com>

E-mail : hidekazu-2640@pure.ocn.ne.jp

会長: 坂田兼則 幹事: 藤永 誉 広報委員長: 山ノ内修一 編集者: 木畑清

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

本日の例会

2016年4月15日(金)第1705回

「テーブル会議」

議題

- ①ガバナーノミニー選出について
- ②第6回「子ども囲碁フェスタ・堺」
について

今週の歌 「日も風も星も」「春の小川」
「堺北RCの歌」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

前回の例会

2016年4月8日(金)第1704回

卓話 「ああ、我がロータリー」

卓話者 宇瀬 治夫 会員

今週の歌 「我等の生業」「浜辺の歌」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○皆出席表彰(4月度)

米澤邦明会員 (第4回)

中川 澄会員 (第6回)

<4月8日(金)の出席報告>

会員数	31名
出席会員	18名
欠席会員	13名
ビジター	0名
ゲスト	0名
3月12日(金)の出席率	77.41%

次週の例会

2016年4月22日(金)第1706回

卓話 「未定」

卓話者 三上 尚嘉 会員

「春の小川」

春の小川は さらさら行くよ
岸のすみれや れんげの花に
すがたやさしく 色うつしく
咲けよ咲けよと ささやきながら



世界へのプレゼントになろう

2015-16年度 国際ロータリーのテーマ

「世界へのプレゼントになろう」

Be a Gift to the World

国際ロータリー会長 K.R. ラビンドラン (スリランカ・コロンボRC)

卓 話

「 雑誌・公共イメージ委員会について 」

会員 宇瀬 治夫



【活動基本方針】

「自分だけで大勢の人に影響する事は難しい。理解得るためには、ロータリーアンだけでなく、ロータリーアン以外の人を含めた数多くの人々に働きかける事が重要だ」

ポール・ハリス

ロータリークラブは、20世紀に入ってまだ間もない1905年、米国イリノイ州シカゴの青年弁護士ポール・ハリスが、「友情とビジネスを混ぜ合わせたら、友情もビジネスも増えるのではないか」というアイデアを基にして、3人の友人と語り合って発足させたものです。

この事は皆様も御存知の事ですが、我が国では1920年10月20日に東京ロータリークラブが創立翌1921年4月1日に世界で855番目のクラブとして誕生し、現在に至っております。現在のところ、220の国家に広められクラブ数35,159 会員数1,224,150人（2016年2月17日RI公式発表）ロータリークラブ創立111年迎えて居ります。今後、創立200年に向けてロータリーの公共イメージは最も重要です。テレビ・新聞・ラジオ・マスメディアを通じての広報、ロータリークラブの課題は地域社会・クラブ内・地区内に公正な発信をして情報を共有する事により自クラブはもとより他クラブともロータリー理念を通じて理解して頂き、地域社会に広くロータリーのメッセージを伝える事が公共イメージアップに繋がるものと考えて居ります。

ロータリーの綱領

- (1) 人道的プログラム飢餓・貧困・疾病・識字率の向上の奉仕活動を通じて世界平和と国際理解の推進
- (2) ポリオプラス、ロータリークラブが最優先とする人道的支援で世界からポリオを根絶する事
- (3) 職業奉仕の実践に伴い職業倫理感の向上

【活動計画】

ロータリーのプログラムの情報

(1) ロータリーの友誌

世界での毎月出る新しい情報も満載しております、ロータリーアンと成ったからには読む事は大切です。御存知の通りロータリーアンの三大義務、例会に出席する・会費の支払い・「ロータリーの友誌」の購読ですが、内容は2つ。国際版RIの横書きページ国内版の縦書きページ文章も分かりやすく明快ですが他地区の活動報告と人道的な支援、そして長く続けられた奉仕活動等の情報と色々なデータなども豊富です。我クラブでは毎月特にこれはと言う文章は必ず広報委員の方が抜粋代読をしております。

「ここで重要な事は、公にかなうプログラムであることが大切です。地域社会に認められるプログラムの継続です。」

是非とも、「ロータリーの友誌」に投稿してクラブ活性化の起爆剤にして下さい。

(2) 週報の効用

週報は毎週発行されるロータリーアンにとって、一番身近な情報です。最新のクラブニュース・会長の時間、例会での卓話、米山奨学をはじめ各委員会の情報等、まず広報の原点は、何と云っても文章の作成です。分かりやすく丁寧な文章がお勧めですが、ここで注意が必要な事は個人情報です。この点充分注意していただく事をお願いします。如何に多くの人に読まれ、理解し広く伝わるかも非常に大切な事です。これは週報とホームページの連動です。IT委員会との協同活動です。是非お勧めいたします。

(3) ロータリーの専門誌

一般的にロータリーに関する雑誌と言えば文字が沢山あり、特にロータリーの書籍には読み始めると、専門用語+横文字、難しい所もありますが、とても分かりやすい辞典も発行されております。短文になっていますのでお勧め致します。これなどの内容を基に色々な情報とロータリークラブの本質について、ディスカッションして新入会員の皆さんの勉強会を開く事で理解して頂くのも良い方法だと考えて居ります。退会防止・会員増強に連動して、ロータリーでの奉仕活動の出来る指導者の育成が望まれます。

(4) 第3の広報

会員数が50名、60名の時代であればより大きなプログラム活動も出来ました。しかし、国際ロータリー2640地区の現在クラブ平均会員数は27名です。各クラブ単位では、確実な歩みで、奉仕のプログラムが続けられております。これに伴い会員増強の一環として青少年交換、奨学生、ローターアクト、インターアクトのメンバーに情報の提供をし、ロータリークラブの本質をより理解して頂き、将来のロータリーアンを考えて育ててみてはいかがでしょうか。

(5) メディア・新聞・ラジオ

インパクトのある広報活動です。特にメディアが関心を持つような、そして惹きつけるようなプログラムの立案をプログラム委員会と協議の上、実行する事が重要だと考えます。

会長の時間

会長 坂田兼則



今年の1月の会長の時間に少し紹介させていただきました、南米ウルグアイ東方共和国の前大統領の「ホセ・ムヒカ世界で最も貧しい大統領」の心に沁みる名言を少し紹介します。

まず一つに「貧乏な人とは、少ししか物を持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことだ。」なかなかこの心境にはなれませんが、次に「発展は幸福を阻害するものであってはいけません。発展は人類に幸福をもたらすものでなくてはなりません。愛情や人間関係、子どもを育てること、友達を持つこと、そして必要最低限のものを持つこと。発展はこれらをもたらすべきなのです。」普通は発展とは人間が便利に生きていくためだと考えられているように思えますが、

そして、「私たちは発展するために生まれてきているわけではありません。幸せになるためにこの地球にやってきたのです。人生は短いし、すぐ目の前を過ぎてしまいます。命よりも高価なものは存在しません。」又、「人は物を買うときは、お金で買っていないのです。そのお金を貯めるための人生を裂いた時間で買っているのです。」「もっと良い世の中を目指すということは、中古車を集め、乗車率を倍にするということではありません。」又「若い人には恋する時間が必要です。子どもが生まれれば、子どもと過ごす時間が必要です。働いてできることは請求書の金額を払うことだけです。職場と家の往復をするだけに時間を使っていると、いつの間にか老人になってしまいます。」最後に「お金があまりに好きな人たちは、政治の世界から出て行ってもらう必要があるのです。彼らは政治の世界では危険です。お金が大好きな人は、ビジネスや商売のために身を捧げ、富を増やそうとするものです。しかし政治とは全ての人の幸福を求める闘いなのです。」

これらの「ホセ・ムヒカ」の考え方は、左派ゲリラとして軍事政権と戦って、当時の軍事政権に逮捕され、13年間の獄中生活の中で人生を学んだと振り返っています。私のような凡人ではすばらしいとは思いますが、とても実践できるものではないと思いますが、「ホセ・ムヒカ」は80歳をこえた今でも一政治家として実践しているそうです。この4月には日本に来ると聞いていますが、一度あってみたいものだと思いますが、写真を見る限りには小さな体で、とても幸せな顔をしています。

S A A 報告

山中喜八郎会員 宇瀬会員さんの格調高い卓話、ただただ凄いなーと感じました！有難うございました。

合計 3,000円

幹事報告

- (1) 本日の配布物 週報
- (2) 幹事報告
 - ・次回4/15のお客様のお知らせ
タイ ブンクム RC より中村様が来会予定です。
 - ・卓話スケジュール変更およびテーブル会議議題のお知らせ
(予定) 4/15 三上会員卓話 → (変更後) 4/15 テーブル会議
(予定) 4/22 テーブル会議 → (変更後) 4/22 三上会員卓話
- (3) 他クラブ例会変更のお知らせ
 - ・堺南ロータリークラブ
4月18日(月)→4月16日(土)18:00~於、アゴーラリージェンシー堺
5月2日(月)→定款第6条第1節 休会
6月27日(月)→定款第6条第1節 休会

ロータリーの“フードファイト” — 米国での食料支援プロジェクト

日本を含むどの国でも、食べるものがなくて困っている人たちがいます。空腹に苦しみ抜いた挙句、命を落とす子どもたちのニュースを聞いた時に、自分に何ができると考える方もいるでしょう。以下の記事は、米国ミズーリ州のロータリー会員によって行われた奉仕プロジェクトに関するものです。



「食事会」から「食料提供」へ

食べ物がなくて困っている人はアメリカにも大勢おり、ミズーリ州の一部地域に限ると、その数は6人に1人となります(食糧バンク調べ)。

そこで、ロータリー会員のスティーブ・デュールさんはある提案をしました。地元ロータリー地区のガバナー就任を控え、通例の食事会ではなく、食糧バンクへの支援を地区会員にお願いしたのです。

その結果、会員だけでなく、ローターアクターや地元住民が競って支援を寄せる“フードファイト”となり、保存食4,500キログラム以上と寄付19,000ドルを集める大成功プロジェクトとなりました。

中でも際立った活躍をしたのは、ジェファーソンシティのロータリー会員です。土曜日にスーパーマーケットの外で買い物客に協力をお願いし、約1,130キログラム分の保存食品を集めました。コロンビア市の会員も多くの時間をボランティア活動に捧げ、2,000ドル以上を寄付したクラブも複数ありました。また、ローターアクトクラブ会員の参加も大きな力となりました。

さらに、地域住民と力を合わせて約2,270キログラムものライスクリスピー(アメリカ伝統のシリアル菓子)の梱包作業に参加。はしごに登ったボランティアが幅4.6メートルの箱からシャベルでシリアルを大きな容器に移し、それをプラスチック容器に小分けする作業では、参加者全員が息を合わせる必要があります。

奉仕を大切にするロータリーを象徴する活動で新年度をスタートしたかったとデュールさん。この初の試みを通じて会員の結束も強まったと話します。実際、地区内49クラブ中、36クラブが参加しました。

クラブ会長のラリー・プライスさん(マウンテンビュー・ロータリークラブ)は、「自分の町に食糧バンクの世話になっている人がこんなにいるとは知らなかった」と語り、思い出に残る経験になったと振り返ります。「食料を受け取った方々も、とても感謝していました」

常識を覆すガバナー就任式

デュールさんのガバナー就任式は、実にユニークなものでした。場所は食糧バンク、時間は作業合間の休憩タイム。豪華な食事はなく、参加者はショートパンツというラフな格好での“式典”となりました。しかし、これこそ、デュールさんが思い描いていた就任式でした。

「汗水流して取り組んでこそ奉仕といえます。気分も爽快になりますよ。これをきっかけに、クラブは今後も食糧バンクを支えてくれるでしょう」

食べ物のない人たちを助ける会員たちの活動は始まったばかり。今後の展開に期待が高まります。

By David Sweet Rotary News 23-Dec-2015